

新しい狛江市民憲章（素案）に対するパブリックコメント及び市民説明会の  
実施結果について

1. 実施期間 平成31年3月15日～平成31年4月15日

2. 意見提出者数 2人

3. 提出意見数 2件

4. 市民説明会

第1回 平成31年3月23日（土）午前10時～ 防災センターにて  
参加者なし

第2回 平成31年3月27日（水）午後7時～ 特別会議室にて  
参加者1人、提出意見なし

5. アンケート

1回目 日時 平成31年3月10日（日）  
場所 エコルマホール（平和祈念事業講演会）  
回答数 32

2回目 日時 平成31年4月7日（日）  
場所 桜まつり本部  
回答数 125

6. アンケート結果（抜粋）

設問：それぞれの文章についてどう思いますか。

|   | いいと思う | 少し直したい |
|---|-------|--------|
| （前文）いつまでも、このまちで暮らしたい。<br>ふるさととしてみんなに愛されるまちを目指します。 | 148   | 7      |
| みんながふれ合い支え合うやさしいまち                                | 151   | 4      |
| 多摩川と野川に囲まれた豊かな自然があふれるまち                           | 147   | 9      |
| 明るい歌声が響き文化を大切にするまち                                | 135   | 19     |
| 健やかな心とからだが育つまち                                    | 150   | 6      |
| 万葉の歴史を未来の夢へつなぐまち                                  | 145   | 12     |

パブリックコメントにおける意見（要旨）

| 意見  | 回答（案）   |
|---|---|
| <p>「みんながふれ合い支え合うやさしいまち」より「～ほほえみのまち」の方がより具体的で、「表情」で周囲が明るい雰囲気を示すことができる。</p>             | <p>表情だけでなく心や行動についても、広く皆が思いやりをもって暮らすことのできるまちにしたいとの思いから「やさしいまち」といたしました。</p>   |
| <p>「明るい歌声が響き」という表現に違和感がある。「明るい歌声が響き」からは実際に歌声が響いているまちと理解され、平和なまち、文化的なまちを連想出来ないと思う。</p> | <p>歌や音楽をはじめとする多様な文化を大切にしていきたいという願いを込めました。また、明るい歌声が響くことが平和なまち、安全なまち、文化的なまちであることを表現しています。文章の意味も含めて、今後しっかりと周知していきます。</p> |

アンケートにおける意見（要旨）

| 意見   | 回答（案）  |
|--|--|
| <p>「このまちで暮らしたい」の「このまち」は、「この地域」という表現の方がいい。</p>      | <p>地域という表現は限定的であると捉えられるため、「このまちで」という表現にしました。</p>   |
| <p>川以外に何かあれば入れてはどうか。</p>                           | <p>多摩川と野川に囲まれている地形が狛江市の大きな特徴であり、その象徴として表現しました。</p>   |
| <p>「万葉の歴史」がどういうものかわからない。それを未来へつなぐということが想像できない。</p> | <p>「万葉」には、たくさんの木の葉、多くの時代といった意味があり、狛江には狛江百塚と呼ばれる古墳群や万葉歌碑といった歴史が残っています。これらの歴史を学び、守りつつ、夢のある未来へつないでいきたいという思いが込められています。</p> |